

令和4年度 事業計画書

一般社団法人福岡大学同窓会有信会（以下「有信会」という。）は、文部科学省の許可を得て、本年度85年目を迎えることになる（昭和30年2月1日社団法人として発足し、本年度67年目を迎える）。

有信会は、母校のご理解と支援により活動を継続しているが、今後も、会員相互の情報交換、親睦、異業種交流等をもって同窓会の活性化を図ると共に、大学との協議、連携を継続し、卒業生と母校の絆をより強固なものになるよう努め、もって母校の更なる発展充実に寄与する。

同時に、地域に受け入れられる公益活動等を継続し、団体としての社会的責任を果たす。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況だが、事業を開催する場合は感染予防対策にしっかりと取り組む。

1 母校への支援

母校及び在学生への支援を行う。

(1) 母校及び在学生への経済的支援等

母校において、卒業生を母校に迎える「ホームカミングデー」を大学との共催により令和4年11月初旬に行う。

母校在学生の課外活動への支援、対外試合での応援を同窓会会員に呼びかける。

(2) 在学生との懇談会を行う。

同年5月11日（水）、ホテル日航福岡において在学生との懇談会を行う。在学生は有信会にとって準会員であり、卒業後は有信会の一員になることから、有信会構成員の後継者としての自覚を促し、指導的人材の育成にも取り組む必要がある。

学友会所属部員の学生、一般学生及び留学生にも参加を呼びかけ参加学生が、地域経済、文化芸術、その他の部門で活躍されている指導的役割を果たしている多くの卒業生と「実業界の現状と展望」、「就職への心構え」、「社会性の涵養」等につき忌憚のない意見を交わす有意義な情報交換の場にするると共に、卒業後は同窓会組織としての有信会活動に積極的に参加しやすい広報活動を行う。

令和4年度の講師は、昭和62年法学部卒業の株式会社西部技研代表取締役社長 隈 扶三郎氏にお願いしている。

(3) 就職支援ガイダンス等を行う。

在学生と有信会会員との就職相談会、専門職有資格者による国家資格取得への支援ガイダンス等について、母校キャリアセンターの活動等を積極的に支援する。

(4) 母校のエクステンション活動及び情宣活動を支援する。

2 公益活動の推進

地域社会との連携を深める。また地域福祉を含めた公益活動を実施する。

(1) 講演会の開催

令和4年6月25日（土）、ホテルニューオータニ博多において、会員大会開催当日、「講演会」を開催する。

講師 福岡大学長 朔 啓二郎 氏

(2) 社会福祉活動

有信ゴルフ会は、秋季にチャリティーゴルフ大会を開催し、チャリティー募金を福祉施設等に寄贈する。

(3) 学友会OB会や各支部での各種ボランティア活動を支援する。

3 事業活動の充実と会員相互の親睦強化

(1) 在学生との懇談会

前記のとおり。

(2) ホームカミングデー

前記のとおり。

(3) 会員大会

令和4年6月25日（土）、ホテルニューオータニ博多において行う。

令和3年度事業報告及び決算報告を行う。

(4) 有信チャリティーゴルフ大会

前記のとおり、同年秋季に開催する。

(5) レディースクラブのつどい

同年11月12日（土）、ホテルニューオータニ博多において行う。

(6) 新年賀詞交換会

令和5年1月18日（水）、ホテル日航福岡において行う。

(7) 有信八日会

会員の懇親、情報交換、異業種交流等の目的で「有信八日会」を年9回開催する。

4月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、2月及び3月に開催する。

4 各種会議・会合の有効な運営

各種会議・会合を必要に応じ開催し、組織の活性化に努める。

(1) 理事会

年5回ないし6回開催する。有信会活動に関連する重要事項を精査のうえ審議し、業務の円滑化に努める。

(2) 定時代議員総会

令和4年6月25日(土)、ホテルニューオータニ博多において行う。
主たる議題は、令和3年度事業報告書及び決算書類等の承認である。

(3) 地域・職域支部長会

同年6月25日(土)、ホテルニューオータニ博多において行う。

(4) 各委員会

有信会の活動分野ごとに設けている委員会を必要に応じて開催する。諸問題の協議内容の充実と円滑な推進を図る。

(5) 母校福岡大学との連絡会議

母校と有信会との意思疎通を図るため、必要に応じ関係役職者や関係部局と連絡会議を行う。

5 広報活動の充実

全国の有信会会員に広報紙「有信」とホームページを通して、有信会の運営方針や活動状況、各支部の活動、母校の現況などを発信する。「親しみやすく、分かりやすい」広報になるよう努める。

(1) 広報紙「有信」

活字媒体としての広報紙「有信」は、会務報告、会員の活動情報、支部の活動状況報告等についてホームページと連携しつつ、多面的かつ掘り下げた内容になるように充実した紙面を目指す。

(2) ホームページ

2019年度にリニューアルしたホームページの内容の更新に努め、会員に最新の情報を届けると共に、各種行事や支部の行事予定、会員提供による企業情報等を充実、学生の顕著な活躍や成績のタイムリーな掲載に努める。また、学生の活動状況を知るために母校ホームページのアクセスが簡単にできるように努める。より使いやすいホームページを目指し、随時見直しを図っていく。

6 組織の活性化

有信会を支えるのは、各地域支部、職域支部及び学部同窓会であり、また、学友会OB会である。これらの組織を相互に有機的に機能させ、若年層及び女性会員が参加しやすい企画を立案すると共に、異業種間の交流の促進を図る。その他、会員が気軽に有信会活動に参加できる環境、情報をあらゆる組織を通して提供するように努め、もって有信会自体の行事への参加者増加につなげていく創意工夫をする。

7 会員データベースの充実と情報管理体制の徹底

会員データベースは、同窓会活動の源になる情報であり、広報、各種会合案内や終身会費納入願いの送付に欠かせないものである。個人情報保護法を遵守して個人データの取得、その管理に遺漏のないように努める。

8 財政基盤の強化

(1) 終身会費徴収の徹底

終身会費は、同窓会活動を行う上で大切な財源である。平成27年度以降の卒業生については、大学による全額委託徴収が行われているが、それ以前の卒業生については、終身会費の未納者が存在する。

未納者には、広報紙「有信」やホームページ等を活用して納付を働きかける。

(2) 経費節減の努力

経費節減に努め、事業活動においても効率的な運営を行うように努める。

令和4年度 収支予算書

令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで

単位:円

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 財産運用収入			
財産運用収入	51,000	60,500	△9,500
② 会費収入			
会費収入(1)	133,920,000	135,247,500	△1,327,500
会費収入(2)	3,700,000	3,700,000	0
③ 負担金収入	2,870,000	2,870,000	0
④ 有信共益事業収入			
有信八日会収入	3,700,000	3,700,000	0
有信ゴルフ会収入	1,950,000	1,950,000	0
⑤ 雑収入	1,000	1,000	0
事業活動収入計	146,192,000	147,529,000	△1,337,000
2 事業活動支出			
① 事業費支出			
母校援助費支出	30,100,000	21,300,000	8,800,000
広報紙発行費支出	29,850,000	28,550,000	1,300,000
I T事業費支出	4,300,000	2,300,000	2,000,000
会員大会費支出	6,730,000	6,710,000	20,000
レディースクラブ総会支出	1,815,000	1,555,000	260,000
講演会費支出	2,146,000	2,536,000	△390,000
新年賀詞交換会支出	2,273,000	2,263,000	10,000
支部援助費支出	17,310,000	14,650,000	2,660,000
有信共益事業支出			
有信八日会支出	3,700,000	3,700,000	0
有信ゴルフ会支出	1,950,000	1,950,000	0
事業費支出計	100,174,000	85,514,000	14,660,000
② 管理費支出			
給料手当支出	15,640,000	15,860,000	△220,000
福利厚生費支出	2,390,000	2,390,000	0
退職金支出	0	0	0
会議費支出	4,250,000	3,500,000	750,000
旅費交通費支出	3,825,000	3,625,000	200,000
通信運搬費支出	1,770,000	1,770,000	0
消耗品費支出	860,000	860,000	0
印刷製本費支出	2,580,000	2,810,000	△230,000
賃借料支出	900,000	900,000	0

単位：円

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)
光熱費支出	200,000	200,000	0
支払手数料支出	250,000	250,000	0
公租公課	70,000	70,000	0
雑費支出	4,310,000	4,310,000	0
管理費支出計	37,045,000	36,545,000	500,000
事業活動支出計	137,219,000	122,059,000	15,160,000
事業活動収支差額	8,973,000	25,470,000	△16,497,000
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
① 退職給付引当預金取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2 投資活動支出			
① 特定資産引当資産支出			
退職給付引当預金支出	915,000	950,000	△35,000
② 固定資産取得支出			
事業積立金 I 繰入支出	30,000,000	30,000,000	0
什器備品取得支出	500,000	500,000	0
投資活動支出計	31,415,000	31,450,000	△35,000
投資活動収支差額	△31,415,000	△31,450,000	35,000
III 財務活動収支の部			
1 その他の収入			
前受会費収入	96,502,500	98,160,000	△1,657,500
その他の収入計	96,502,500	98,160,000	△1,657,500
2 収入調整勘定支出			
前受会費調整支出	101,505,000	102,457,500	△952,500
収入調整勘定支出計	101,505,000	102,457,500	△952,500
財務活動収支差額	△5,002,500	△4,297,500	△705,000
IV 予備費支出	3,000,000	3,000,000	0
当期収支差額	△30,444,500	△13,277,500	△17,167,000
前期繰越収支差額	261,902,000	224,919,000	36,983,000
次期繰越収支差額	231,457,500	211,641,500	19,816,000

(注) 収支予算書に対する注記

・ 前期繰越収支差額

令和4年度収支予算書における前期繰越収支差額は、令和3年度決算書(令和4年3月31日)の決算見込み額で計上している